



Closure report 2023

終了報告書

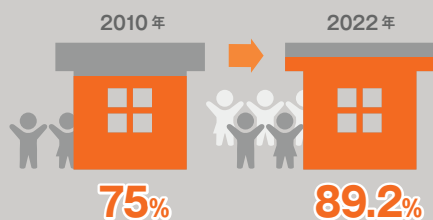
コンゴ民主共和国
トヨタ地域開発プログラム
ZAR-183280 (2006年～2023年)



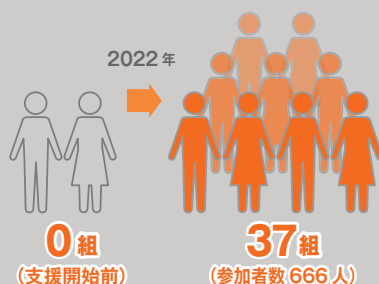
ありがとうございました

皆さまのご支援により、人々が変わり、地域が変わりました

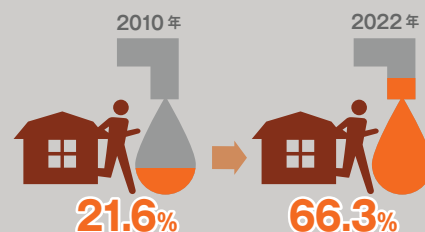
小学校に通っている
子どもの割合



貯蓄グループの数



徒歩30分以内の距離に
給水施設がある世帯の割合



Education



教育

多くの子どもたちが
小学校に通えるよう
になりました

コンゴ民主共和国では初等教育へのニーズが高まったことにより、2019年に小学校無償化政策が開始されましたが、トヨタ地域では子どもの数に対して学校が少なかったため、教育へのアクセスが大きな課題でした。また教員に対する研修も不十分で、教育の質にも問題があり、その結果学校を退学してしまう児童が多くいました。ワールド・ビジョンはより多くの子どもたちに教育の機会を提供できるよう、小学校を新たに建設し、その結果支援開始当初と比べて非常に多くの子どもが小学校に通うことができるようになりました。また学校に手洗い場やトイレを設置し、子どもたちが快適に学習に取り組める環境を整えました。教員に対しては、教科書や教材に限られている中でも、現地で調達できる画用紙や材料を使って学習教材を作成する研修を実施し、教育の質が向上しています。



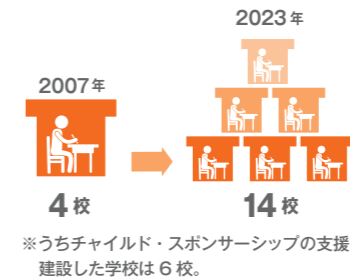
支援前
狭い教室で、身を寄せ合うようにして学んでいた子どもたち



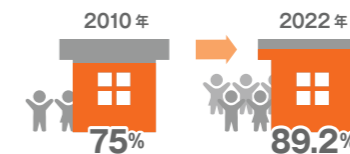
支援後
新しい校舎が建設され、学習の環境が改善されました

成果

小学校の数



小学校に通っている子どもの割合



Livelihood



生計向上

農業の技術支援が、
生活の改善に
つながっています

地域住民のほとんどは農業で生計を立てており、自給自足の生活を送りつつ余った分を販売していましたが、得られる現金収入はわずかで厳しい生活を送っていました。また経済的な困窮のため、多くの若者が手作業による鉱物の採掘という非常に危険な仕事に従事していることも問題でした。こうした課題を改善するため、野菜や豆類の栽培や養鶏に関する技術研修を行ったほか、小規模な貯蓄グループを形成し、人々が学費や医療費などのお金を工面したり、小さなビジネスを始めるための融資を受けたりできるような取り組みを実施しました。さらに若者が安全な職業に就けるよう、縫製技術を学ぶ職業訓練も提供しました。これらの活動を通じて、人々は様々な知識や技術を着実に身に付けており、今後も少しずつ所得を伸ばして生活の改善につなげていくことが期待されています。



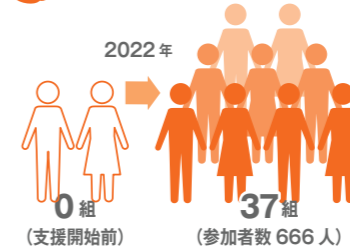
支援後
両親が農業研修を受けた男子。収穫量が増えたおかげで子どもたちの栄養状態も改善しています



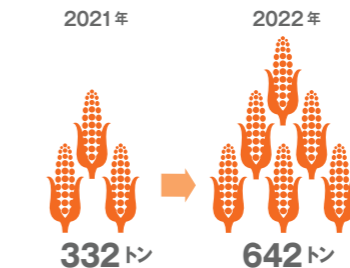
支援後
農業研修を受け、キャベツの栽培に取り組んだ女性たち

成果

貯蓄グループの数



トウモロコシの生産量



Health & Water



保健・水衛生

医療サービスと
安全な水に
アクセスできるよう
になりました

トヨタ地域には3つの保健施設がありましたが数が足りず、人々は医療サービスを受けるために遠くまで移動しなければなりません。また給水施設も圧倒的に不足しており、公衆の給水施設は常に多くの人で混雑している状況で、川や適切に管理されていない井戸から不衛生な水を手で取るを得ない人も大勢いました。人々が必要な医療を受けられるようにするため、ワールド・ビジョンは、支援開始後早期に保健センターを建設し、必要な薬や医療器材を提供しました。この施設では多くの出産が行われているほか、保健センター職員が住民に健康に関する知識や情報を伝えるなど、保健に関する啓発活動の中心的な存在としても機能しています。地域にある井戸を修復し、また新たに建設した結果、2万人以上の人が安全な水にアクセスできるようになりました。



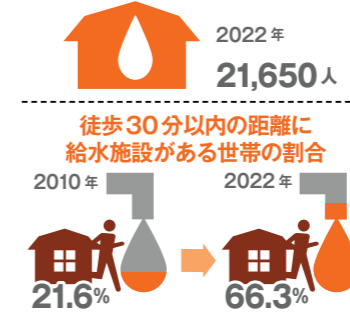
支援前
川の近くで水をくむ子どもたち。飲用に適した水ではなかったため、多くの子どもたちが下痢などの病気に苦しんでいました



支援後
今では給水施設で安全な水を得ることができます

成果

安全な水にアクセスできる人



建設または修復した井戸の数



マネージャーよりごあいさつ



トヨタ地域
開発プログラム
マネージャー
ムロンゴ・ヌシンバ・
パトリック

チャイルド・スポンサーの皆さま、これまでの温かいご支援に、トヨタ地域を代表してお礼を申し上げます。2006年にこの地域開発支援が始まったとき、私たちは「厳しい状況に置かれた子どもたちの未来を救おう」と決意しました。そして17年がたった今、地域の人々は安全な飲み水を得られるようになり、生計手段を持ち、そして子どもたちは教育を受けて、希望を持って育っています。こうした素晴らしい変化をもたらされたのは、皆さまの継続的なご寄付のおかげです。私たちと歩んでくださったことに、心から感謝するとともに、他の地域で支援を待っている子どもたちへ、引き続きご支援をいただければ幸いです。

地域代表者からのごあいさつ



トヨタ地域リーダー
ロジャー・マデイカ
氏

ワールド・ビジョンの支援活動が始まる前、トヨタ地区では世帯収入の低さ、保健サービスの不足、教育施設の不足、安全な水へのアクセスの悪さなど、多くの問題を抱えていました。特に貧困は人々を苦しめており、弱い立場にある子どもたちは、栄養不良に陥ったり、学校を辞めざるを得なかったりと、一層困難な状況に置かれていました。しかしチャイルド・スポンサーの皆さまの温かいご寄付により実施された様々な取り組みのおかげで、こうした問題の多くが改善され、今では地域の人々が貧困から抜け出すための行動を自ら起こしています。これからも、私たちは地域のための活動を続けていきます。ここまで支えてくださった皆さまに、心より感謝いたします。

皆さまとともに歩んだ17年間の支援と成果

準備期

2006年度

▼

2010年度

- ◎ 支援対象地域での状況やニーズの調査
- ◎ 教育、保健、生計向上など、活動内容ごとに代表者を選出
- ◎ 4つの地域に井戸を建設
- ◎ 保健センター3カ所に医薬品を提供
- ◎ 新たな保健センターの建設
- ◎ 地域の小学校に6つの教室を増設



新しい教室の前で笑顔を見せる子どもたち



新しく建設された保健センター

第1期

2011年度

▼

2014年度

- ◎ 3つの小学校を建設
- ◎ 学校や保健センターなどに井戸を建設
- ◎ 農業技術を学び、収穫量を増やすための研修を実施
- ◎ 貯蓄グループの設置、運営



収穫したトウモロコシを芯から外す作業



貯蓄グループの活動の様子

第2期

2015年度

▼

2018年度

- ◎ 地域住民のための多目的ホールの建設
- ◎ 地域の小学校に6つの教室を増設
- ◎ 小学校における植林活動の実施
- ◎ ポンプ式の井戸5基を建設し、維持・管理を行う水委員会を発足
- ◎ 子どもたちの読み書きの能力を向上させるための、読書クラブを設置
- ◎ 3つの学校に井戸を建設



水管理委員会が実施した研修の様子



読書クラブの指導員を養成する研修

第3期

2019年度

▼

2022年度

- ◎ ソーラーパネルのついた井戸5基を建設し、水管理委員会を発足
- ◎ 地域の小学校に、ドアのついたトイレを建設
- ◎ 教員を対象に、前向きな声掛けや肯定的なしつけを行う研修を実施
- ◎ 27世帯に家畜用のうさぎを提供
- ◎ 新型コロナウイルス感染症の予防やワクチン接種に関する啓発
- ◎ 支援終了後の各活動の移行計画について、関係者との話し合い



新しく建設されたトイレには、プライバシーを守るためのドアと障害者用のスロープがついています



コミュニティ内に設置された給水施設

支援を受けたチャイルドのストーリー

「チャイルド・スポンサーシップのおかげで、
未来に希望が持てるようになりました」

ジェレミーさん
(23歳)

トヨタ地域で生まれ育ったジェレミーさんは、両親と8人のきょうだいと暮らしています。ジェレミーさんが幼いころ、父親が仕事を失い、一家はとても厳しい生活を送っていました。「ぼくもきょうだいたちも学校に通えず、毎日お腹を空かせていました」

2011年、ジェレミーさんはチャイルド・スポンサーシップの支援を受け、地域に新たに建設された学校に再び通い始めます。「新しい学校には井戸と清潔なトイレがあって、下痢や感染症で苦しむことがなくなりました。何より学習に集中できることが、とてもうれしかったです。また、両親がワールド・ビジョンの農業研修や貯蓄グループに参加して、僕たちの生活は大きく変化しました。ちゃんと食事がとれて、医療費も支払えるようになりました」

2021年に機械科の教育課程を修了したジェレミーさんは、現在溶接工として働いています。「今はぼくがきょうだいたちの学費を払い、家族を養っています。これまでぼくたち家族や地域の人々を支えてくださったチャイルド・スポンサーの皆さんに、心から感謝しています。本当にありがとうございました」

